

農薬は生態系に影響を 与えているのか

8月15日 晴れ

今日は、おじいちゃんがつくっている田んぼを見せてくれるということで、見学に行きました。

稲がおいぶん大きくなっていました。でもとれるのは秋なんだって、残念。よく考えてみたら、僕は毎年来ているのに田植えもしたことなかった。

それにしてもおじいちゃんはうれしそうだったよ。



おじいちゃん、昔タニシをよく捕ったって言ってたけど……いないよ。



そうだな、以前はトンボやカエルなんかももっていたような気がするなあ。農薬による影響があるのだろうか。



A!

かつて使われていた毒性の高い農薬、例えばDDTなどによって身近な生物が減少したとされています。今は、毒性の低い農薬が使用されていますから、住宅の増加や水路のコンクリート化などによって生き物の生息環境が破壊されたことなども原因といえます。



生き物が減ったということは、目に見えるけど、土にしみこんだ農薬はどうなっているんでしょうね。

そうだなあ、正しい使い方をしていれば分解されちゃうんだよ。



そうはいつでも農薬が土にしみこんだら分解してくれるはずの良い微生物だって死滅するのよ。そうすれば分解されずに土に残って、それがどんどん蓄積されていくと私は思うの。

土の中にいる虫がかわいそう。



そういうことも、きちんと調べられているんだよ。



そういうことって？



環境に与える影響のことだよ。

用語解説

●DDT… 強力な殺虫効果が認められた最初の有機合成農薬です。世界中で広く使用されましたが、毒性・残留性の問題から我が国では現在、製造・販売・使用が禁止されています。